

おおた社会福祉士会会報

第96号

2018年(平成30年)1月9日発行

発行：おおた社会福祉士会事務局

責任者：生駒 友一

連絡先：〒146-0082 東京都大田区池上7-13-14

電話・FAX 03-6410-6051

E-MAIL otachikukai@gmail.com



(メール配信への切り替えをご希望される方は、「お名前」と「メール配信希望」の旨をこちらまでお願いします。)

11月定例会報告「フィリピンの児童養護施設「ハウスオブジョイ」実践報告」 おおた社会福祉士会 監事 大山 昭典



昨年11月に引き続き、今回も澤村さんに講演をお願いすることになった。

ハウスオブジョイはミンダナオ島のダバオ市から車で約2時間の海岸に近い場所にある。

創業者の鳥山氏は1981年からフィリピンに在住、1997年現地の孤児を養護するための施設を立ち上げ、2008年から澤村信哉氏も活動に参画した。

現在施設には両親に捨てられたり、家庭内暴力などで孤児となった14歳から17歳までの子ども20人と支援スタッフ7人が生活している。子どもたちは将来の自立に備えるため、井戸水を運ぶ、薪割り、炊事、掃除当番など全員が役割を与えられている。

澤村さんが持参したスライドで、子どもたちが勉強している様子やブランコ、ボール蹴り、近くの海辺での水遊びなど、みんな明るい笑顔で楽しく過ごしているのが分かる。

年間の運営費は約 800 万円掛かるが、国からの援助が無いので、すべて自己資金で賄わざるを得ない。原資としてはボランティア活動の人たちが泊まるロッジの宿泊費(1泊2食2800円)はじめ手作りの竹笛販売、アマゾンにリンクした広告収入などを当て込んでいる。

澤村さんは40歳?とは思えないほど若々しく、とても活動的で前向きな人である。資金不足を補うため毎年日本に来て、講演活動や似顔絵書き等している。今回も講演の合間に竹笛やアコーディオンを演奏し「今の仕事に生きがいを見つけ、自分も一緒に楽しむ現在の生活」に十分満足しているとの話が印象的であった。

澤村さんの話では、現在ミンダナオ島全域に出ている戒厳令は、今年の12月頃には解除される見込みなので、関心ある方は是非施設へ遊びに来てほしい。その時はダバオの空港までお出迎えするとのことだった。私も機会をみて「ハウスオブジョイ」へ是非遊びに行くつもりである。

ハウスオブジョイのウェブサイトとブログは下記リンク先です。
子どもたちのとてもステキな笑顔が印象的です!ぜひご覧下さい♪
「ハウスオブジョイハウスオブジョイ | house of joy | フィリピンの児童養護施設」
<http://hoj.jp>
「ハウスオブジョイ日記」
<http://jj.hoj.jp>

11月定例会のリアクション・ペーパーより

※定例会時に参加者にお書きいただいたリアクション・ペーパーを編集したものです。できるだけ原文どおりに書き写しましたが、字句の統一など一部編者(生駒)によって改変されている箇所もあります。そのため、お書きいただいた方の意図が正しく表現できていない場合もあるかもしれません。その点、何卒ご了承ください。

.....

児童養護施設の運営を楽しく行って成功しているケース。とても面白かったです。海外旅行するならただの観光じゃつまらないと思ってるので是非ゲストハウスに行ってみたいです。

.....

とても楽しみに来ました。澤村さん、ますますパワーアップされていましたね。すてきな話とすてきな音楽で心が洗われました。

.....

それぞれのケースの例も出してお話しいただいたので、ミンダナオ島の社会の様子についてよくわかり興味深かったです。私自身はマニラ出身の子ども達を支援する児童養護施設でボランティアをしていた時期がありますが、地域による活動のちがいがわかりおもしろかったです。

.....

資金のない中で、工夫して元気に活動している姿を知ることが出来ました。ありがとうございました。楽しく活動しているところがいいですね。

.....

楽しいお話をたくさん聞いて、目からウロコでした。

.....

心理学を学んだ際、人の感情は感情に名をつけた言語によって数に変化するという説を知った。また、その時に同時に感情を学ぶには臨界期がある説も聞いた。今回 8 ヶ月子どもに囲まれることで楽しいという感情を覚えた子の存在を知り驚いた。日本の養護施設にも笑わない子どもがいる。諦めずに関わりを持つ希望が持てた。

.....

澤村さんの楽しんで養護施設を運営されている姿勢に強く感銘を受けました。ありがとうございます。

.....

昨年に続き大変有意義なお話を聞かせていただきました。

人をいやし笑顔にできるのは、人の笑顔なのでしょう。と、感じさせられました。

.....

笑顔・学び・支え合う心と、つなぎ先の開拓。これらが子供が“こうなりたい！”という考えが持てる環境を作っている人だなと感じました。

竹サククス、カッコ良かったです！

Amazon アフィリエイトの面白い活用法もステキでした。

.....

昨年度お話を聞いてから最近の治安を心配しておりましたが大きくは問題なさそうで良かったです。

アマゾンのは購入時に利用させていただいております。少しでもお役に立てて良かったです。

.....

寄付で成り立っている児童養護施設の話聞いてすばらしい取り組みと思う。

楽しさを軸に収入を得られ、さらに収入を拡大していることも継続して運営していくことのこつと思う。

フィリピンはまだまだ福祉にお金をつかえる状況でないこともよくわかった。

.....

とても楽しくあつという間でした。来て良かったです。

竹のサククス、私も吹いてみたいです。

今にハウスオブジョイに行ってみたいです！

私はカトリック信者なのですが、うちの教会でもお話してほしいと思いました。今日はありがとうございました。

.....

やはり今年も期待どおり楽しいお話をありがとうございました。

Amazon で支援できるよう、この社会福祉会の HP からリンクするようにはしてみたいでしょうか。

サククスもう少し練習します！

.....

「おおた社会福祉士会 大忘年会 2017 in ナングロガル蒲田店」報告

おおた社会福祉士会 会長 生駒 友一



12月20日(水)「ナングロガル蒲田店」にておおた社会福祉士会大忘年会を開催いたしました。14名の皆さまにご参加いただき、本格ネパール料理と会話を楽しみました。忘年会幹事の吉田さんがインフルエンザで急遽欠席となるなど、昨年に比べて参加者は少なかったものの和やかな雰囲気の良い忘年会となりました。今回参加できなかった会員の皆さまも定例会後に必ず懇親会を開催しておりますのでお気軽にご参加ください。なお、1月の定例会では会場にて新年会を開催します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

役員会からのお知らせ

- ◆ 11月役員会の報告（10月30日（火）午後7時～、mics 多目的スペース）
 - ・会報95号の印刷発行
 - ・定例会（11～2月度）、忘年会について
 - ・区民公開講座について→3月10日（土）、講師は青木元（気象庁地震火山部地震予知情報課長）、テーマは「首都直下地震に備えて」に決定。
- ◆ 12月役員会の報告（12月4日（月）午後7時～、mics 多目的スペース）
 - ・会報96号の内容について
 - ・定例会（1月～2月度）、忘年会について
 - ・「DET サポーター大田」より名義使用申請（後援）→承認
3/21「障害平等研修（DET）」を体験して、だれもが暮らしやすいまちを作ろう
 - ・平成29年度区民公開講座実行委員会

第4回 1月23日(火)午後7時～、mics おおた相談交流室 or 2階多目的スペース

◆役員会の会合では、定例会等の運営の検討、会報の編集会議や印刷封入などをしています。お気軽にご参加ください。

◆あなたも役員に・・・月1回の役員会に出席するほか(出られない役員はメーリングリストで意見交換できます)、定例会での司会進行、企画、会計などを分担しています。できる範囲でできることを持ち寄って、全会員のみなさまとともに運営しています。あなたも役員になってくださいませんか。役員就任のお申し出やお問い合わせは、会のメールアドレスまで。

1月 定例会「新年会ぶっちゃけトーク！」

1月定例会は、会場にて軽食付きの新年会を開催いたします。

フリートークの中から、来年度の活動に向けたアイデアやヒントを出し合いましょう♪

【訂正】1月定例会のタイトルは「次年度の活動計画についての意見交換会&新年会」から「新年会ぶっちゃけトーク」に変更しました。ご了承ください。

とき 1月17日(水)午後7時～8時30分 **ところ** 大田区消費者生活センター2階 第6集会室

参加費 500円

※午後6時～、買い出しなど準備作業をスタートします。ボランティアいただける方は集合ください。

※定例会の後、有志により懇親会を開催します。

2月 拡大定例会「他地域の自立支援協議会の事例から学ぶ ～障害者支援の地域連携を考えるために～」

自立支援協議会は、障害当事者や福祉関係者のみならず地域を構成する様々な関係者機関と連携のもと、障害福祉に関する地域課題や地域資源についての情報を共有し、相談支援をはじめ様々な具体的な検討を自治体ごとに運営されることが求められています。障害者自立支援法施行から、10年超経過し、各地域での取り組みは独自に発展してきました。

講師に目黒区障害福祉課障害者相談係長の平井勝氏をお迎えし、他地域の自立支援協議会の先進的な取り組みについてご報告をいただきます。障害福祉や自立支援協議会の学習を通じて、市民と行政セクターの連携協働による福祉のあり方を学びます。

とき 2月14日(水)午後7時～9時 **ところ** さぼーとぴあ 5階多目的室

講師 平井 勝 氏(目黒区障害福祉課障害者相談係長) **参加費** 500円

情報保障 パソコン文字通訳・磁気ループ(敷設) **協力** パソコン文字通訳者会ユビキタス

3月 区民公開講座「首都直下地震に備えて」

首都直下地震は、30年以内に70%の確率で発生すると予測されています。大田区に住んでいる私たちもいつ被災者になるか分かりません。いざ災害が発生した時に自分や大切な人を守るように、防災意識や減災の知識を事前にしっかりと身につけておくことが大切です。

講師に気象庁地震火山部地震予知情報課長の青木元氏をお迎えし、「首都直下地震に備えて」というテーマでお話していただきます。

とき 3月10日(土)午後2時～4時 **ところ** 大田区消費者生活センター 大集会室

講師 青木 元 氏(気象庁地震火山部地震予知情報課長) **参加費** 無料

定員 100名（先着順） **情報保障** パソコン文字通訳

後援 大田区 大田区社会福祉協議会 東京社会福祉士会災害福祉委員会

協力 パソコン文字通訳者会ユビキタス 風雷社中 おおた市民活動推進機構

編集後記

クリスマスに長男がインフルエンザB型に罹患し、「家族に順番に回ってくるのではないか!？」という恐怖と戦いながらの年末年始でした。案の定、妻も3日からダウンし、8日現在まだリハビリ中です。とはいえ、嵐は去りつつあるようです。明けない夜はない。皆さまもどうぞご自愛ください。ぼちぼちと行きましょう。（いこま）